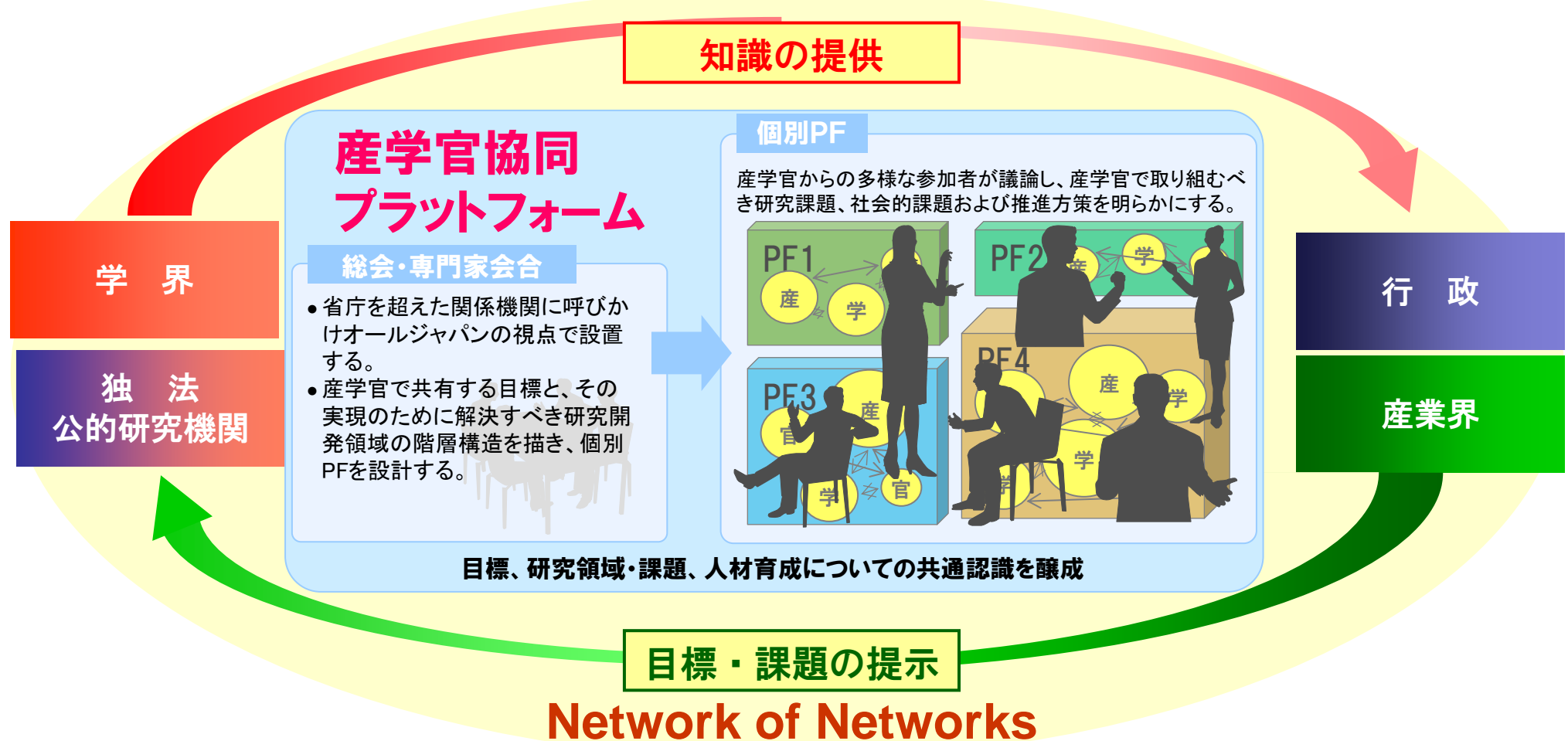


4. 産学官の議論の場やネットワーク形成

現状 学界、産業界、政府、独法間での、科学技術により解決すべき長期的な目標が共有されていない。組織の壁により、英知の結集を行いにくい。

学界、産業界、政府、独法が、一緒になって科学技術により解決すべき長期的目標を共有し、解決を行うための議論の場およびネットワークを構築する。



産学官協同プラットフォームへの参加による参加機関への効果

産学官協同プラットフォームの趣旨

社会の期待に応えるために掲げるにふさわしい目標を共有し、新しい基礎知識により研究開発課題を解決してイノベーションを実現するための、議論の場、およびネットワークを構築する。

- ◆ より速く確実に効率よくイノベーションを実現するために、産学官で取り組むべき研究領域・課題およびその推進方策を明らかにする。
- ◆ リスクが高く産業界では取り組むことができないが、イノベーションを実現するために不可欠な研究領域・課題を、学官が理解する。

効果

産

製品化研究への集中

- 学で生み出された知を活用することができる。
- リスクの高い基礎研究部門を無理に保持する必要がなくなる。
- 各企業の比較優位を活用した製品化のための研究開発に、資源を集中させることができる。
- 目標達成に向けた取り組みに合致する人材を獲得することができる。

産学官

ネットワークの構築

科学技術と資源(人材、資金)が最適な場所に最適なタイミングで流動できるネットワークが構築される。

Network of Networks

学

基礎研究の活用および方向付け

- 基礎研究の成果を、目標達成のための課題解決に寄与させることができる。
- 産業界の要望を踏まえて、組織としての基礎研究のあり方と、それに基づく組織構造、人材育成および組織内の資源配分を描くことができる。

官

ファンディング事業への反映

イノベーションの効果的実現という観点で研究領域の設定方法や推進方策を見直し、各組織が運営するファンディング事業を発展させることができる。